

朝日賞に茨大とStrom

県アンサンブルコン

第50回県アンサンブルコンテスト(県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の大学の部と職場・一般の部が13

日、筑西市の明野公民館であった。大学の部に10団体、職場・一般の部に25団体が参加。最優秀の朝日賞



朝日賞を受賞した茨城大の木管三重奏



朝日賞を受賞したアンサンブルStrom

には茨城大(木管三重奏)とアンサンブルStrom(金管八重奏)が選ばれた。大学2団体と職場・一般6団体が来月、栃木県で開催される第21回東関東アンサンブルコンテストに県代表として出場する。

茨城大の木管三重奏はオーボエ、クラリネット、アルトサクソスの3人でルムラン作曲の「テルトツェット」を演奏。不協和音を多用した現代的な曲で、解釈や表現の統一に苦労したという。アルトサクソスの北島勇人さん(1年)は「難しい曲だが、お客さんにもわかりやすいよう東関東大会でも堂々と吹きたい」。

普段はそれぞれの楽団で活動するメンバーが集まって結成したアンサンブルStromは、初出場で朝日賞に輝いた。広瀬勇人作

曲の「アレハンドロ」を披露。トランペットの渡辺敏行さん(35)は「(朝日賞は)本当にびっくり。自分たちがめざす勇壮で荘厳な音に曲のイメージがマッチしました」と話した。

金賞は次の通り(◎は代表。クIIクラリネット、打II打楽器、金II金管、木II木管、管II管楽。数字は重奏の略)。

- 【大学】◎茨城(木3)、◎茨城(金5)
- 【職場・一般】◎古河シティウインドオーケストラ(打8)、白亜ウインドオーケストラ(打3)、◎ひたちなか交響吹奏楽団(ク4)、◎ル・シエル音楽団(木5)、ひたちなか交響吹奏楽団(木3)、聖徳ウインド・アンサンブルB(管8)、◎聖徳ウインド・アンサンブルA(管8)、白亜ウインドオーケストラ(管7)、◎ひたちなか交響吹奏楽団(金8)、◎アンサンブルStrom(金8)